

野菜の需給・価格動向レポート(平成30年5月1日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

※・レポートの読み方については、注意書きを参照してください

種類	3月の価格情報				4月の価格情報				4月中旬の関東及び近畿ブロックの入荷量 ()内は、本年と過去3年平均値との比率	5月の主産地	生育及び価格の5月中旬までの見通し	「図の見方」 平均価格 現時点の価格水準 現時点の価格水準 平均価格(点線)は、レポート期間中に変動する場合があります。
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格		(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格		4月中旬の関東及び近畿ブロックの入荷量 ()内は、本年と過去3年平均値との比率					
		中旬	下旬		上旬	中旬						
葉茎菜類	キャベツ	96.86	110	104	88.59	88	88	・9,769t (97%)	千葉(34)、神奈川(32)	→	千葉産は、天候に恵まれて順調な生育であることから、現在(4月中旬)の出荷は平年並みであるが、今後は平年を上回る出荷の見込み。神奈川産は、順調な生育である一方で、3月の低温で生育が遅れて出荷できなかったものが5月以降の出荷に回るから、現在の出荷は平年並みであるが、今後は平年を上回る出荷の見込み。	
		92.10	106	94	91.02	80	91	・2,810t (81%)	愛知(45)、兵庫(18)			千葉産及び神奈川産の出荷が平年を上回ると見込まれることから、現在平均並みの価格は、平均を下回って推移する見込み。
	たまねぎ	83.77	109	107	95.80	97	90	・8,274t (101%)	佐賀(57)、北海道(17)	→	佐賀産は、早生(露地)の出荷開始が数日遅れたものの、気温の上昇により生育は回復傾向にあることから、現在の出荷は平年を下回っているが、今後は平年並みの出荷となる見込み。北海道産は、貯蔵物からの計画的な出荷で出荷終盤をむかえ、引き続き平年並みの出荷の見込み。	
		83.77	105	99	95.80	97	95	・2,713t (102%)	兵庫(48)、佐賀(28)			佐賀産及び北海道産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均並みの価格は、引き続き平均並みで推移する見込み。
	ねぎ (関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ)	127.15	344	284	291.18	220	271	・1,320t (96%)	茨城(40)、千葉(30)	→	茨城産は、生育順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、急激な気温の上昇で抽苔や品質劣化が発生していることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。	
		473.04	390	279	334.20	251	264	・193t (98%)	徳島(25)、三重(23)			茨城産の出荷が平年並みと見込まれ、千葉産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、現在平均並みの価格は、平均を上回って推移する見込み。
	はくさい	64.18	103	101	67.05	38	47	・1,960t (118%)	茨城(94)	→	茨城産は、気温の上昇により生育が進んで前進出荷の反動があることから、現在の出荷は平年を上回っているが、今後は平年並みの出荷の見込み。	
		68.70	100	96	74.06	40	55	・478t (92%)	長崎(36)、宮崎(15)			茨城産の出荷が平年並みと見込まれるものの、需要期が過ぎたことから市場での引き合いも弱く、現在平均を下回っている価格は、引き続き平均を下回る見込み。
	ほうれんそう	372.27	357	425	376.10	426	561	・505t (90%)	群馬(36)、茨城(32)	→	群馬産は、3月下旬以降の気温の上昇で生育が進み、前進出荷の反動があることから現在の出荷は一時的に平年を下回っているが、今後は平年を上回る出荷の見込み。茨城産は、順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷を見込む。	
		394.15	298	354	416.73	416	517	・241t (96%)	岐阜(62)、福岡(11)			群馬産の出荷が平年を上回ると見込まれ、茨城産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、平均並みで推移する見込み。
	レタス(結球)	189.66	120	133	156.23	129	138	・3,462t (102%)	長野(38)、茨城(29)	→	長野産は、天候に恵まれ順調な生育であることから、引き続き平年を上回る出荷の見込み。茨城産は、気温の上昇による前進出荷の反動があることから、現在の出荷は平年並みとなっているが、今後は平年を下回る見込み。	
		193.43	120	121	165.00	122	138	・1,036t (92%)	長野(49)、茨城(23)			茨城産の出荷が平年を下回ると見込まれるが、長野産の出荷が平年を上回ると見込まれることから、現在平均を下回っている価格は平均に近づくものの、引き続き平均を下回って推移する見込み。
果菜類	きゅうり	266.63	286	276	266.63	214	196	・5,012t (118%)	埼玉(29)、群馬(25)	→	埼玉産は、天候に恵まれ順調な生育であることから、引き続き平年を上回る見込み。群馬産は、生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。	
		254.91	278	265	254.91	201	183	・1,632t (135%)	宮崎(43)、高知(14)			埼玉産の出荷は平年を上回ると見込まれ、群馬産の出荷が平年並みであることから、現在平均を下回っている価格は、引き続き平均を下回って推移する見込み。
	トマト(大玉)	356.77	311	307	356.77	293	286	・4,372t (102%)	栃木(25)、熊本(23)	→	栃木産は、順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。熊本産は、天候に恵まれ順調な生育であることから、引き続き平年を上回る出荷の見込み。	
		337.87	301	302	337.87	296	286	・1,656t (101%)	熊本(65)、愛知(8)			栃木産の出荷が平年並みと見込まれ、熊本産の出荷が平年を上回ると見込まれることから、現在平均を下回っている価格は、引き続き平均を下回って推移する見込み。
	なす	347.77	427	407	347.77	357	341	・1,599t (125%)	高知(61)、群馬(18)	→	高知産及び群馬産は、天候に恵まれ順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。	
		330.95	395	375	330.95	325	319	・721t (129%)	高知(36)、熊本(21)			高知産及び群馬産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均並みの価格は、引き続き平均並みに推移する見込み。
ピーマン	578.80	549	491	339.20	405	370	・1,397t (126%)	茨城(70)	→	茨城産は、天候に恵まれ順調な生育であることから、現在の出荷は平年を上回っているが、今後は平年並みの出荷の見込み。		
	565.30	512	438	311.41	335	302	・584t (136%)	宮崎(48)、高知(18)			茨城産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均並みの価格は、引き続き平均並みで推移する見込み。	
根菜類	だいこん	79.03	100	76	86.59	68	80	4,655t (93%)	千葉(76)	→	千葉産は、3月下旬以降の気温の上昇により生育が進んで前進出荷の反動があったことから、現在の出荷は平年を下回っているが、今後は平年並みの出荷の見込み。	
		80.47	99	76	85.05	62	61	・2,556t (121%)	長崎(39)、鹿児島(20)			千葉産の出荷が平年並みと見込まれるが、市場での引き合いが弱いことから、現在平均並みの価格は、平均を下回って推移する見込み。
	にんじん	111.16	196	211	156.99	204	204	・2,850t (80%)	徳島(73)、長崎(25)	→	徳島産は、昨年10月の長雨や台風の影響で播種が遅れた中で、小ぶりの前進出荷となっていることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。千葉産は、概ね順調な生育であり、引き続き平年並みの出荷の見込み。	
		109.97	184	221	140.94	218	211	・1,528t (80%)	徳島(57)、長崎(29)	→	千葉産の出荷は平年並みであるが、徳島産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。	

注：1 平均価格は、過去6年(平成23～28年)の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格。
2 旬別平均販売価格の赤字及び青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで平成29年実績である。
5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聞き取りをもとに機構が作成したもの。

※・レポートの読み方については、注意書きを参照してください

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	3月の価格情報 (参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	3月の価格情報		4月の価格情報 (参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	4月の価格情報		4月中旬の関東及び近畿ブロックの入荷量 () 内は、本年と過去3カ年平均値との比率	5月の主産地	生育及び価格の5月中旬までの見通し	「図の見方」 現時点の価格水準 平均価格 現時点の価格水準 平均価格(点線)は、レポート期間中に変動する場合があります。	
		指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格		指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格					
		中旬	下旬		上旬	中旬					
いも類	ばれいしょ	96.99	107	97	145.31	95	94	4,077t (134%)	鹿児島(45)、長崎(41)		鹿児島産は、天候に恵まれて順調な生育であり、現在は平年を上回る出荷であるが、今後は平年並みの出荷の見込み。長崎産は、2月の低温で生育が遅れていたが、3月以降の適度な降雨と気温の上昇で生育は回復傾向であることから、現在の出荷は平年を下回っているが、今後は平年並みの出荷の見込み。
		96.99	97	97	152.23	106	112	1,093t (128%)			

注：1 平均価格は、過去6カ年(平成23～28年)の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格。
 2 旬別平均販売価格の赤字及び青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
 3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
 4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで平成29年実績である。
 5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聞き取りをもとに機構が作成したもの。

1 主要野菜の生産出荷状況(特定野菜)

種類	3月の価格情報 (参考) 過去5カ年平均価格	3月の価格情報		4月の価格情報 (参考) 過去5カ年平均価格	4月の価格情報		4月中旬の東京及び大阪市場の入荷量 () 内は、本年と過去3カ年平均値との比率	5月の主産地	生育及び価格の5月中旬までの見通し	「図の見方」 現時点の価格水準 平均価格 現時点の価格水準 平均価格(点線)は、レポート期間中に変動する場合があります。	
		東京・大阪市場の旬別価格	東京・大阪市場の旬別価格		東京・大阪市場の旬別価格	東京・大阪市場の旬別価格					
		中旬	下旬		上旬	中旬					
洋菜類	ブロッコリー	300.88	288	353	335.48	357	590	482t (93%)	香川(28)、埼玉(18)		香川産は、2月の低温及び4月が干ばつ気味であったことから生育が遅れたため、現在の出荷は平年を下回っているが、気温の上昇により生育が回復傾向にあることから、今後の出荷は平年並みの見込み。埼玉産は、適度な降雨と気温の上昇により順調な生育となっていることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。
		318.91	250	328	389.06	340	597	121t (100%)			

注：1 平均価格は、過去5カ年(平成25～29年)の東京都及び大阪市中央卸売市場の価格。
 2 旬別価格は、上段は東京都中央卸売市場、下段は大阪市中央卸売市場であり、単位は円/kgである。
 3 旬別価格の赤字及び青の背景は、平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は平均価格を80%を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
 4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで平成29年実績である。

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 斎藤、山田、長島 TEL03-3583-9793、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。
 ◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方は当機構のホームページのトップ画面、メールマガジンから登録してください。
 ★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.htmlに掲載しています。
 ※無断転載せず レポートに記載された情報をご利用になったことにより生じたいかなる損害に関して、当機構は一切の責任を負いません。